一般質問

四議員により五質問が行われました。

親の虐待で命を絶つ児童が後をたたない

柳澤清次 議員

議員 大阪市のマンションで三歳と一歳の姉弟が寄り添うように遺体で見つかった事件など、新聞やテレビ等で連日のように児童虐待の事件が報道されていますが、当町では親の虐待はないのでしょうか。また、どんな対策をしているのでしょうか。

どの子も健やかに成長して欲しい

町長 町では、刑事事件に発展するような児童虐待は発生していません。町の対策は、小・中学校、幼稚園、保育園との連携により、虐待の早期発見に努めるとともに、万一発見した場合は、速やかに児童相談所に通報し、対応策を協議することとしています。

また、保健師などが「乳児家庭全戸訪問事業」を実施して、虐待の原因となる子育ての孤立化を防止しています。さらに「子育てサロン」等により、民生委員などが就園前の子ども達の見守りと母親の相談を受けています。今後も関係機関との連携を強化し、児童虐待防止に努めていきたいと考えています。

国保運営と産業振興対策

山田邦彦 議員

議員 国保財政の健全化のための対策(歳入を大きくするか歳出を少なくする)として、①さらなる予防策(例えばヒブワクチン接種の補助開始)②町民所得を増やすために各産業のデータベースを作ってはどうか。③『甘楽町のセールスマン』の名刺を作り、希望者に無料配布し、データベースを持ちPRしてもらう。○町に『視察・研修』していただく際に、データを渡す○町有施設に常備する。④その他の計画は。

町長 ①予防対策は、各種検診を積極的に受けていただき、病気の早期発見、早期治療が不可欠です。決算の報告どおり、二十一年度の検診受診者数は、前年比約十四パーセント増となりました。

また、今年度開催予定の健康祭では「健診を受けよう」をメインテーマに据えて受診の啓発に力を注ぎたいと思っています。②名刺やデータベースよりも、リンクする商工会のホームページと併せて町ホームページの充実を図っていきたい。③町のホームページにアクセスしていただくようPRするのがよいと考えます。④今後も住宅団地の造成や企業誘致を推進し、定住人口の増加や雇用の拡大を図って行きたいと考えています。

リサイクルセンターの設置等について

山田邦彦 議員

議員 二一世紀は「環境の世紀」と言われるほど、環境への関心が高まっています。町や、県。国や企業で、もっとやらなければならない・やれることがあるのではないか。①粗大ゴミの回収を行い、リサイクルセンターを設置してはどうか。運営はボランティア(「ゴールド人材センター」を設置)を基本に考える。②陶磁器の分別収集を開始する。③スチール缶のプルトップ(アルミ製)を分別収集に加えてはどうか。

町長 ①粗大ごみは、指定業者に有料で回収していただいています。また、古タイヤ、廃バッテリーなどは、年に一度有料回収をしています。その他の粗大ごみは、手を加えて活用できるものは、限られてしまうので、町の人口規模等からすればフリーマーケットや民間のリサイクルセンター等を利用するのが効率的だと思います。②陶磁器の分別収集は、粉砕する経費がトン当たり二万円かかり、売り払いはトン当たり八〇〇円程と言われています。費用対効果の面がすべてではありませんが、あまりにも効率が悪く現在の状況では実施できません。③今はほとんど缶から離れないタイプのものになりましたので、無理に離し分別の必要はないと思います。プルトップに限らず、分別区分をしっかり守りごみ減量化に努めたいと考えます。